



**2026年 2 月期
第 2 四半期（中間期）決算説明資料**

2025年10月10日

株式会社ツインバード 証券コード： 6897

2026年2月期 第2四半期（中間期）決算 ハイライト

当中間会計期間では、売上高42.4億円と前年同期比4.6%の減収、中間純損失4.3億円と減益決算。一方、第2四半期（6月～8月）は価格改定などの収益性改善策の実行により、第2四半期の営業損失は47百万円となり第1四半期と比べ304百万円、前年同期比でも112百万円の改善。

売上高

42.4億円
(前年同期比 △4.6%)

中間純利益

△4.3億円
(前年同期比 △2.1億円)

売上総利益率

27.2%
(前年同期比 +0.9pt)

家電製品事業
セグメント利益*

△0.0億円
(前年同期比 △0.6億円)

営業利益

△3.9億円
(前年同期比 △0.4億円)

FPSC※事業
セグメント利益*

0.1億円
(前年同期比 +0.0億円)

経常利益

△4.2億円
(前年同期比 △1.0億円)

自己資本比率

67.2%
(前期末比 △4.0pt)

※FPSC：フリー・ピストン・スターリング・クーラー *調整額（全社費用 4.0億円）を除外

目次

1. 2026年2月期 第2四半期（中間期）決算概要

2. 2026年2月期 通期業績予想

3. 2026年2月期 中間配当 年間配当予想

補足資料：四半期別業績数値

目次

1. 2026年2月期 第2四半期（中間期）決算概要

2. 2026年2月期 通期業績予想

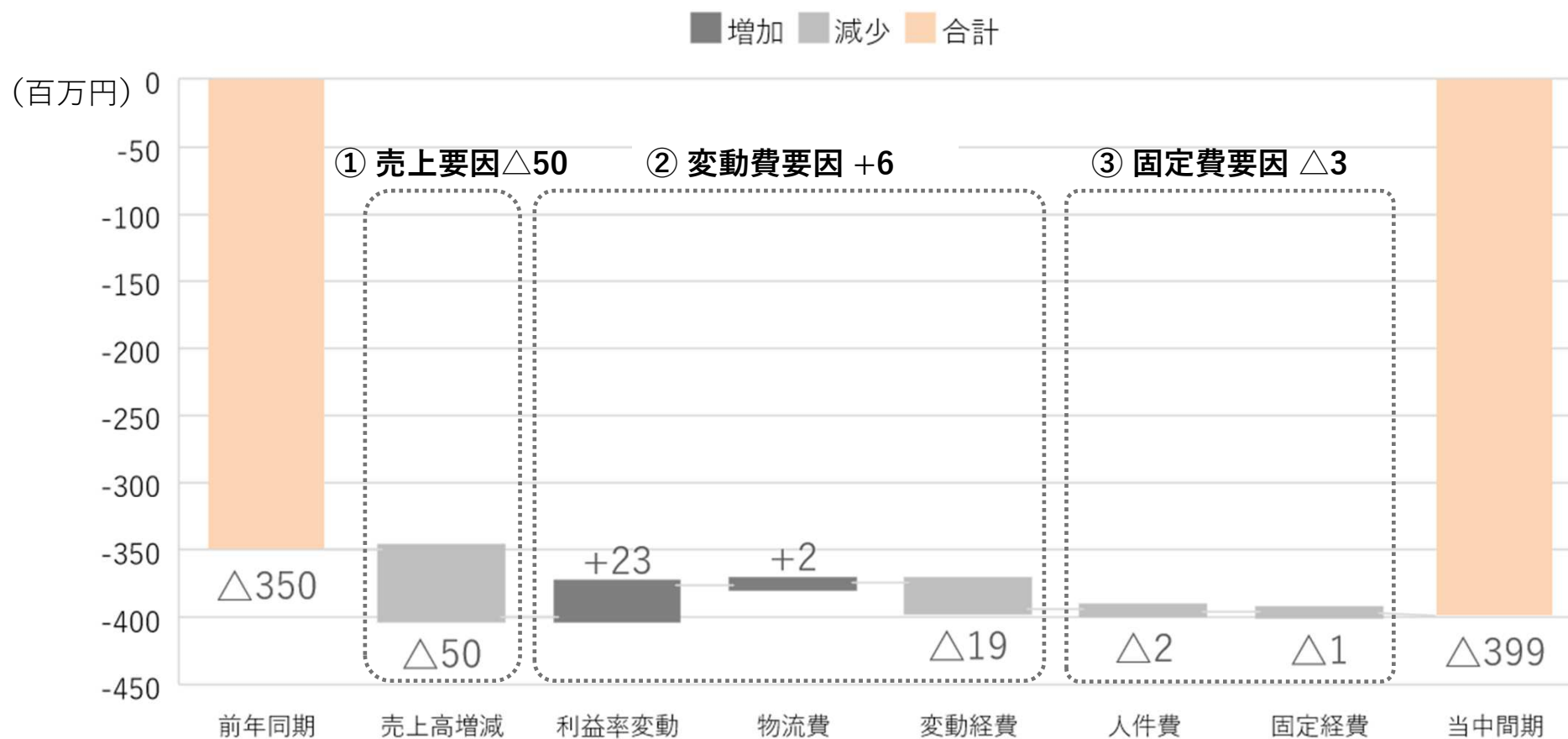
3. 2026年2月期 中間配当 年間配当予想

補足資料：四半期別業績数値

2026年 2 月期 第 2 四半期（中間期） 損益概況

単位：百万円	2025年度	2024年度			(参考)
	中間期 実績	中間期 実績	前年同期比 差額	増減率	2025年度 通期 業績予想
売上高	4,248	4,454	△205	-4.6%	10,500
売上総利益	1,155	1,171	△15	-1.3%	
売上高比	27.2%	26.3%	0.9pt		
販売費及び一般管理費	1,555	1,522	33	2.2%	
売上高比	36.6%	34.2%	2.4pt		
営業利益又は営業損失（△）	△399	△350	△49	-	150
売上高比	-9.4%	-7.9%	-		1.4%
経常利益又は経常損失（△）	△429	△328	△101	-	120
中間純利益又は中間純損失（△）	△432	△221	△210	-	100

2026年2月期 第2四半期（中間期） 営業利益：前年同期比増減の要因分析

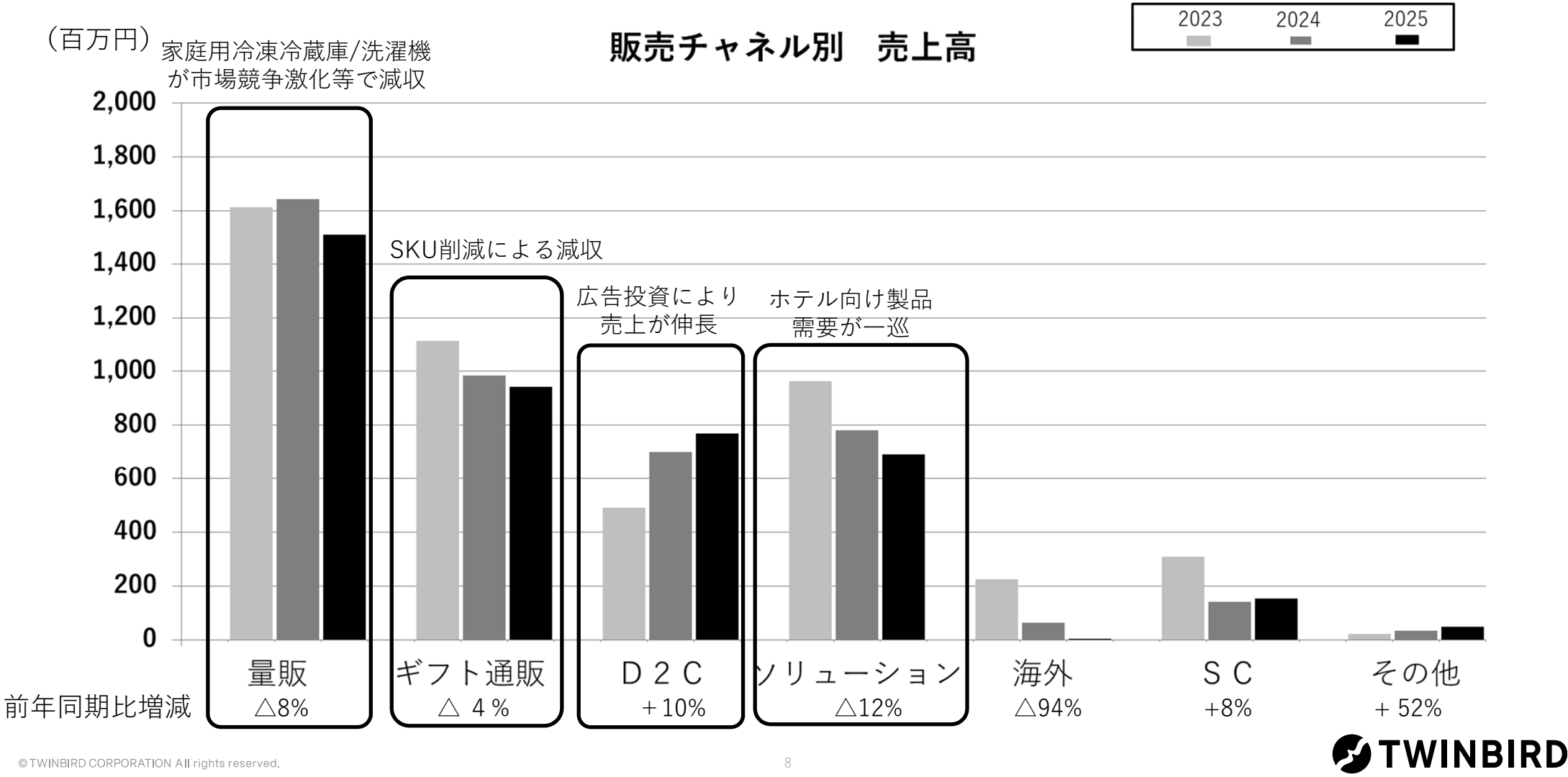


2026年 2 月期 第 2 四半期（中間期） セグメント別業績概況

- 家電製品事業は、備蓄米の放出に伴う需要増加を背景に精米器・炊飯器の販売が堅調に推移。家庭用冷凍冷蔵庫や洗濯機は価格改定により収益性は改善したものの販売は低調に推移し、前年同期比減収。一方、価格改定などの収益性改善施策により第 1 四半期に比べ第 2 四半期の収益は改善
- FPSC事業は、北米の主力取引先における在庫調整が進展し受注が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期並みに推移。利益面では価格改定などにより前年同期比、増益

単位：百万円	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	2025年度 実績	2024年度 実績	前期比 差額	前期比 成長率	2025年度 実績	2024年度 実績	前期比 差額	前期比 成長率
家電製品事業 売上高比	4,092	4,294	△201	△4.7%	△8 -	54 1.3%	△63 -	-
FPSC事業 売上高比	156	159	△3	△2.3%	13 8.7%	7 4.9%	5 +3.8pt	74.3%
調整額					△404	△413	8	
全社 計 売上高比	4,248	4,454	△205	△4.6%	△399 △9.4%	△350 △7.9%	△49 -	-

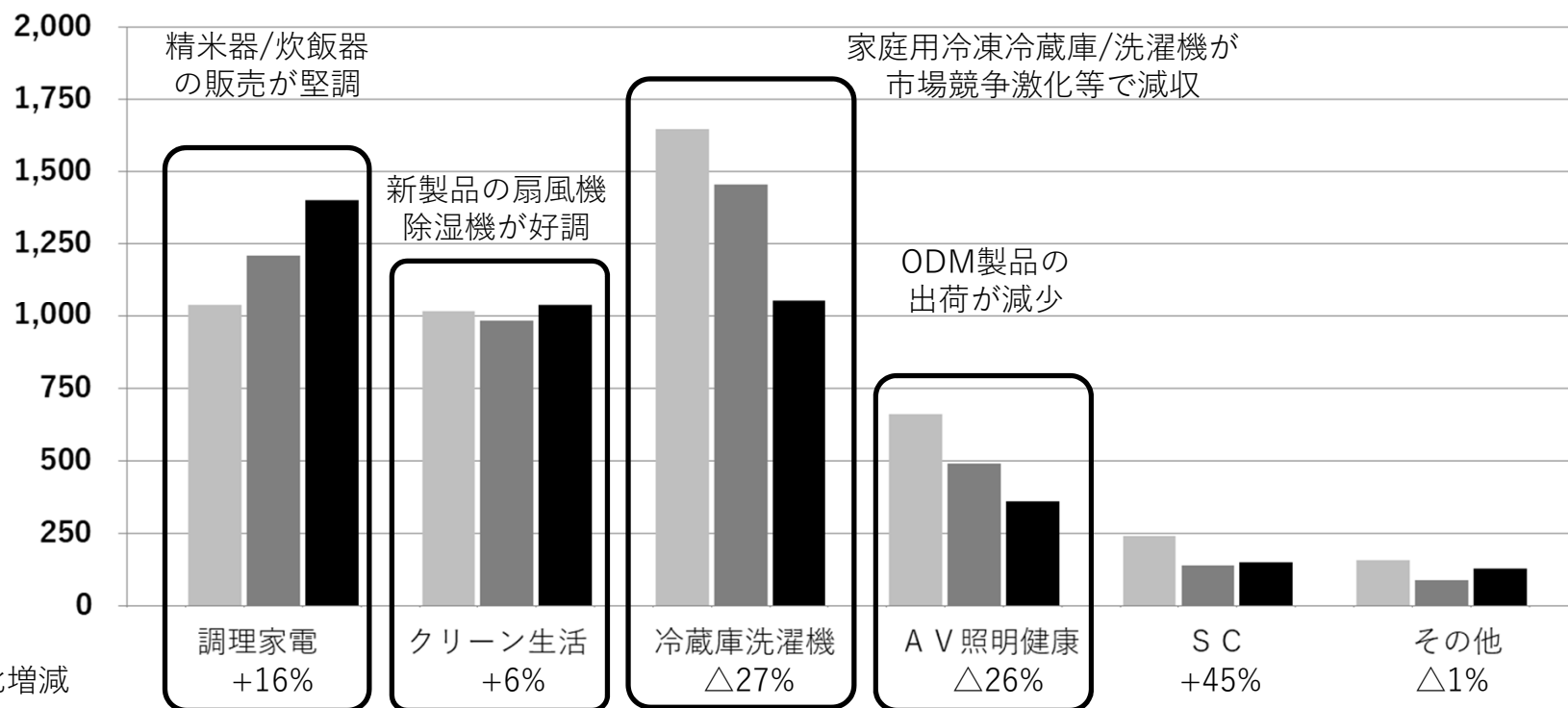
2026年 2 月期 第 2 四半期（中間期） 販売チャネル別 売上高の推移



2026年2月期 第2四半期（中間期） 商品ジャンル別 売上高の推移

（百万円）

商品ジャンル別 売上高



全自動
コーヒー
メーカー
CM-D465B



匠ブランジェ
トースター
PLUS
TS-D487B



3合IH炊飯ジャー
RM-D793W



サーキュ
レーション
扇風機 3 D Lite
EF-E995W



スターリング
冷凍機
SC-UE15R

2026年 2 月期 第 2 四半期（中間期）末 貸借対照表

単位：百万円	2025年度 中間期末	2024年度 前期末	増減		2025年度 中間期末	2024年度 前期末	増減
現預金	751	610	141	仕入債務	208	189	18
売上債権	1,278	1,966	△688	短期借入金	1,150	1,500	△350
棚卸資産	3,781	3,139	641	長期借入金	1,065	460	605
その他	245	370	△125	その他	1,109	975	133
流動資産 計	6,056	6,087	△31	負債 合計	3,532	3,124	407
有形固定資産	3,570	3,572	△2	資本金・資本剰余金	5,149	5,149	-
無形固定資産	596	676	△80	利益剰余金	2,108	2,649	△541
投資その他資産	557	530	26	その他	△10	△56	45
固定資産 計	4,723	4,780	△57	純資産合計	7,247	7,743	△495
資産 合計	10,780	10,868	△88	負債＆純資産合計	10,780	10,868	△88
				自己資本比率	67.2%	71.2%	△4.0pt

2026年2月期 第2四半期（中間期） キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	2025年度	2024年度	増減
税引前当期純利益	△430	△316	△113
減価償却費	190	150	40
売上債権の増減額	688	628	60
棚卸資産の増減額	△641	△33	△607
仕入債務の増減額	18	△133	151
その他	253	△233	487
営業CF	79	60	18
固定資産の取得による支出	△62	△296	233
固定資産の売却による収入	0	6	△6
投資有価証券の売買額	0	13	△13
その他	0	0	0
投資CF	△61	△275	214

	2025年度	2024年度	増減
短期借入金の増減額	△350	400	△750
長期借入金の増減額	605	△115	—
リース債務の返済額	△22	△32	10
配当額の支払額	△109	△109	0
その他	△0	0	0
財務CF	123	143	△19

フリーキャッシュフロー*	17	△215	233
現金等の換算差額	△0	0	0
現金等の増加額	141	△72	213
現金等の期首残高	255	495	△239
現金等の期末残高	396	422	△25

*フリーキャッシュフロー＝営業CF＋投資CF

目次

1. 2026年2月期 第2四半期（中間期）決算概要

2. 2026年2月期 通期業績予想

3. 2026年2月期 中間配当 年間配当予想

補足資料：四半期別業績数値

2026年 2 月期 通期業績予想（2025年 4 月14日公表値から変更なし）

- 「収益構造の再構築」「固定費・変動費の最適化」「成長事業の推進」に取り組んでおり、その具体的な収益改善施策は第 2 四半期より成果を上げ始めております
- 家電製品事業
最大の需要期である年末年始商戦及び新生活商戦において、8月には匠ブランジェトースターPLUS、9月にはドラム式洗濯乾燥機などの戦略的新商品を投入し、さらに10月以降も戦略的新商品を多数投入することにより売上増加を見込む
並行して、小売店様向け専売製品及び業務用小型冷凍庫のODM（相手先ブランドによる開発設計製造）製品の新製品を発売予定
他方、匠プレミアムシリーズの全自動コーヒーメーカー及び匠ブランジェトースターを東アジア・東南アジア市場の一部地域において販売開始予定。これらの取り組みにより下期は前期より増収を見込む
利益面につきましては、価格改定及び売上増加に伴う利益の増加、原価低減の推進、ローコストオペレーションの徹底により収益性改善を図り、下期は前期より増益を見込む
 - FPSC事業は、世界保健機関(WHO)が定める医療機材品質認証(PQS：Performance, Quality and Safety)を活かし、アフリカ開発会議(TICAD、横浜8月)、分析機器展示会(JASIS、東京9月)、国際医療機器見本市(MEDICA、ドイツ11月)への出展や国内外の医療機器流通各社を通じた営業活動、また、経済産業省支援の新規輸出 1 万者プログラムを通じて、さらなる販売活動の強化を推進

単位：百万円	2025年度	2024年度		
	通期 業績予想	通期 実績	前期比 差額	増減率
売上高	10,500	10,056	443	4.4%
営業利益	150	4	145	－
売上高比	1.4%	0.0%	1.4pt	
経常利益	120	42	77	180.4%
当期純利益	100	△101	201	－

目次

1. 2026年2月期 第2四半期（中間期）決算概要

2. 2026年2月期 通期業績予想

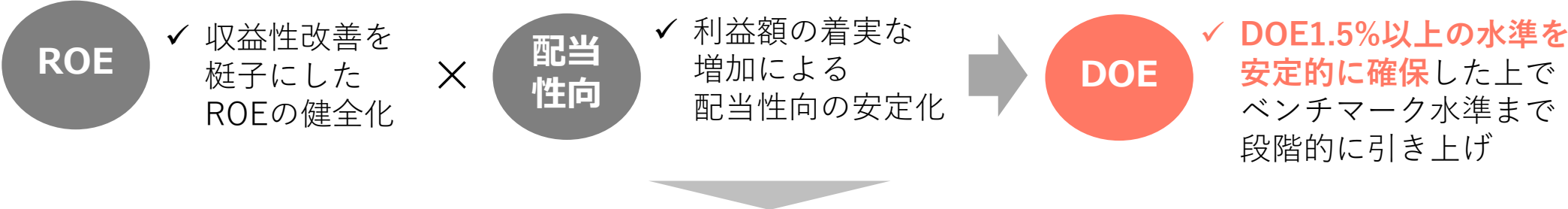
3. 2026年2月期 中間配当 年間配当予想

補足資料：四半期別業績数値

2026年 2 月期 中間配当

【当社株主還元政策の基本的考え方】

- 当社は企業価値の向上により、株主価値を高めることを経営の重要課題と認識しております。業績を向上させ財務体質の強化を図ることで、安定的かつ持続可能な株主還元（配当・自己株式取得）をおこなうことを基本方針としています
- 配当については、DOE1.5%以上の水準を安定的に確保し、段階的に引き上げることを目指しております
- 一方、自己株式の取得については、資本効率向上などを目的として、経営環境、業績動向、並びにフリー・キャッシュ・フローや財務レバレッジの水準、将来の事業資金需要の見通しなどを総合的に考慮し、適切な時期に機動的に実施します

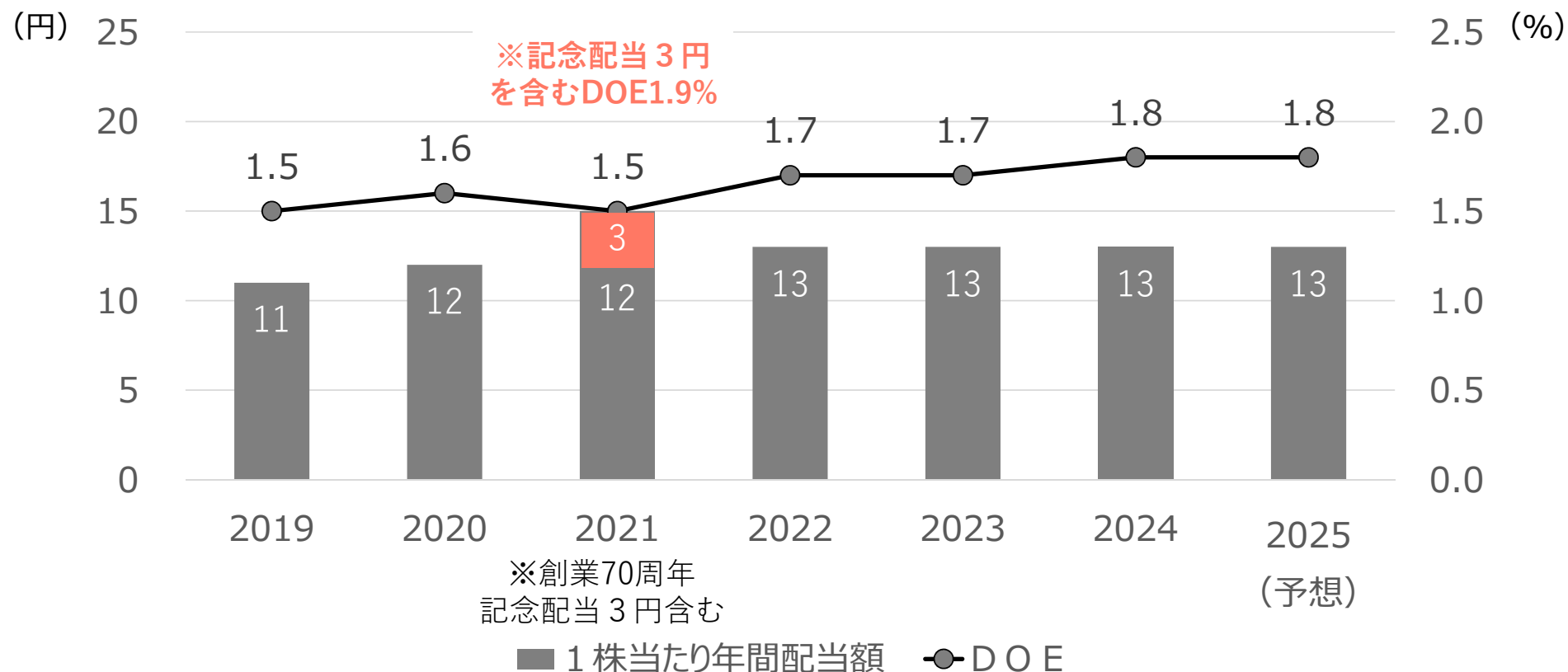


第64期（2025年3月1日～2026年2月28日） 中間配当		
1. 中間配当金	当社普通株式 1 株当たり 3 円	
2. 支払総額	32,718,498円 （株式数10,906,166株 × 3 円）	
3. 配当の効力が生じる日	2025年11月11日	

1株当たり年間配当額、純資産配当率（DOE）

中間配当は当初予想どおり1株当たり3円を支給

年間配当は1株当たり13円（中間配当3円、期末配当10円） DOEは1.8%を予想



目次

1. 2026年2月期 第2四半期（中間期）決算概要

2. 2026年2月期 通期業績予想

3. 2026年2月期 中間配当 年間配当予想

補足資料：四半期別業績数値

第2四半期（3ヶ月） 損益計算書

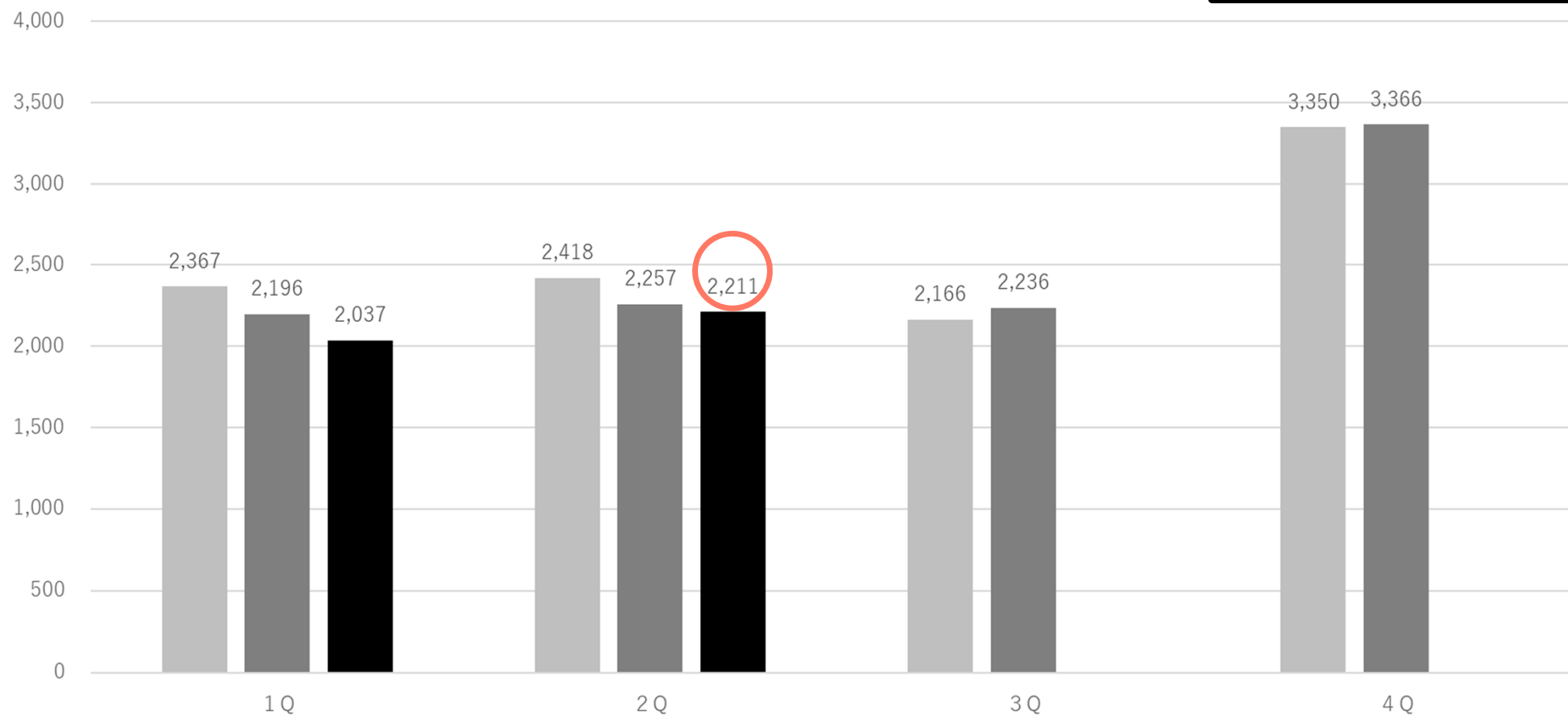
単位：百万円	2025年度	2024年度		
	2Q 実績	2Q 実績	前年同期比 差額	増減率
売上高	2,211	2,257	△46	-2.0%
売上総利益	705	574	131	22.9%
売上高比	31.9%	25.4%	6.5pt	
販売費及び一般管理費	753	735	18	2.5%
売上高比	34.1%	32.6%	1.5pt	
営業損失（△）	△47	△160	112	-
売上高比	-2.2%	-7.1%	-	
経常損失（△）	△68	△161	92	-
四半期純損失（△）	△72	△104	32	-

四半期別業績数値 純売上高

(百万円)

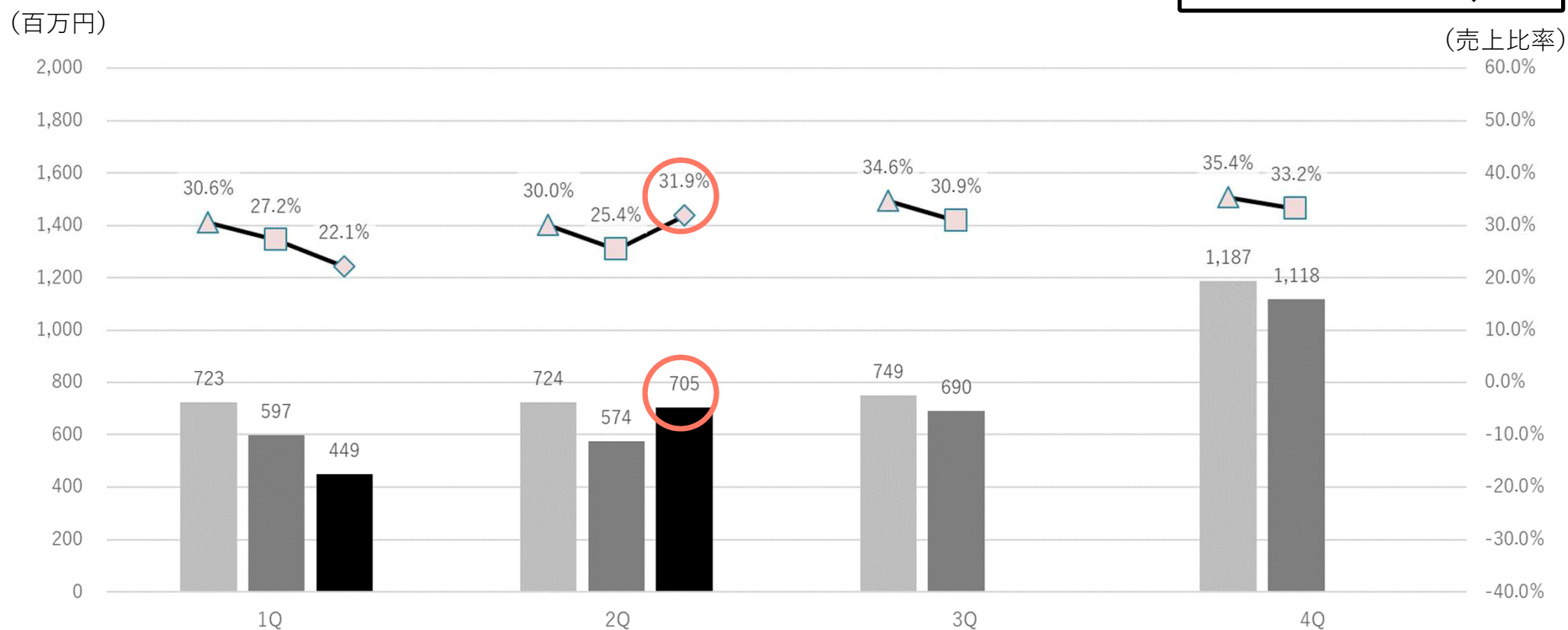
四半期別比較＜純売上高＞

前々期 前期 当期



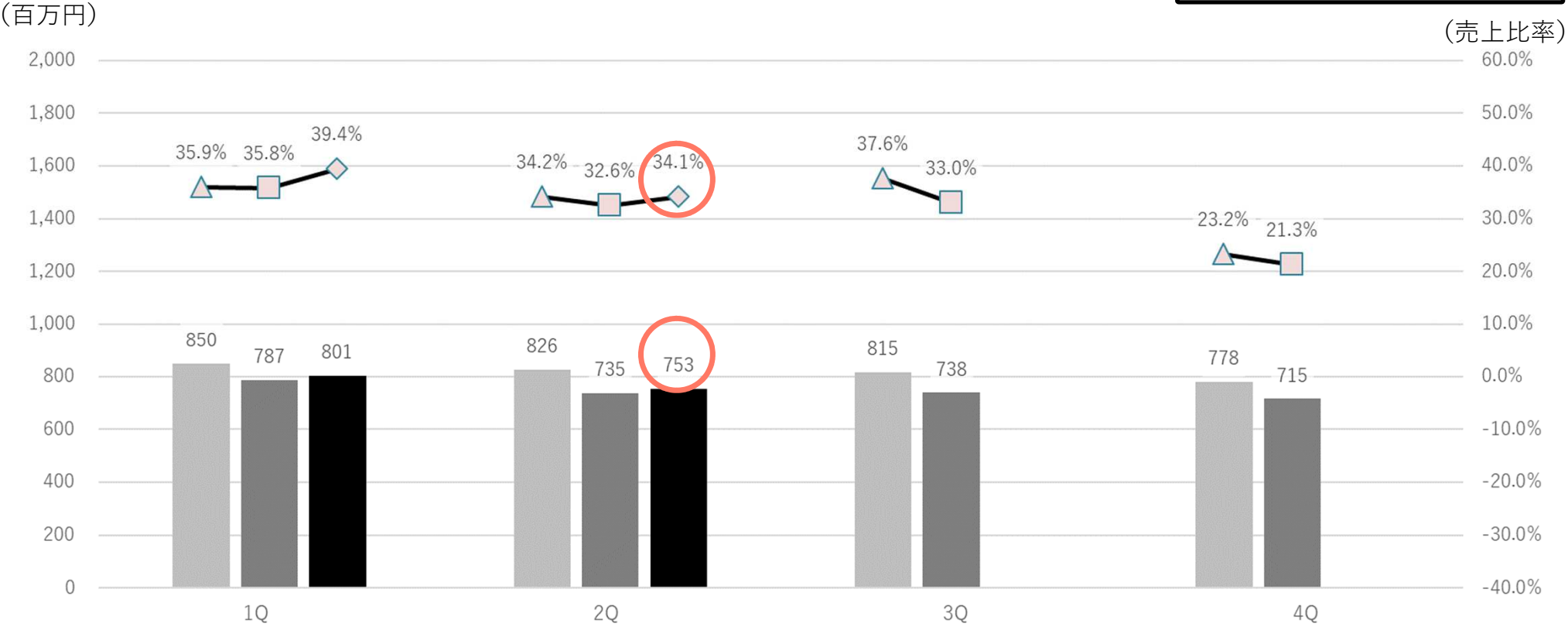
四半期別業績数値 売上総利益

四半期別比較＜売上総利益＞



四半期別業績数値 販売費及び一般管理費

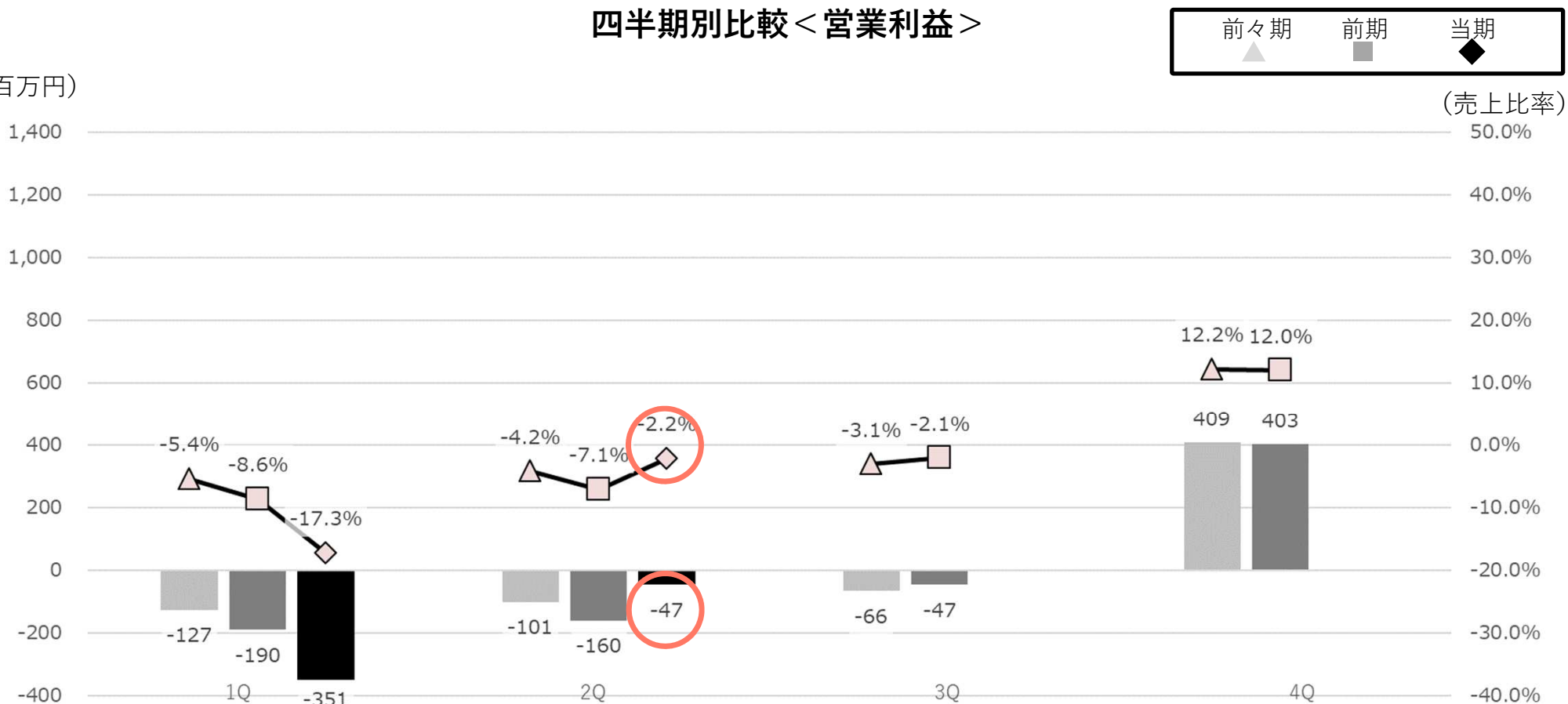
四半期別比較＜販売費及び一般管理費＞



四半期別業績数値 営業利益

四半期別比較＜営業利益＞

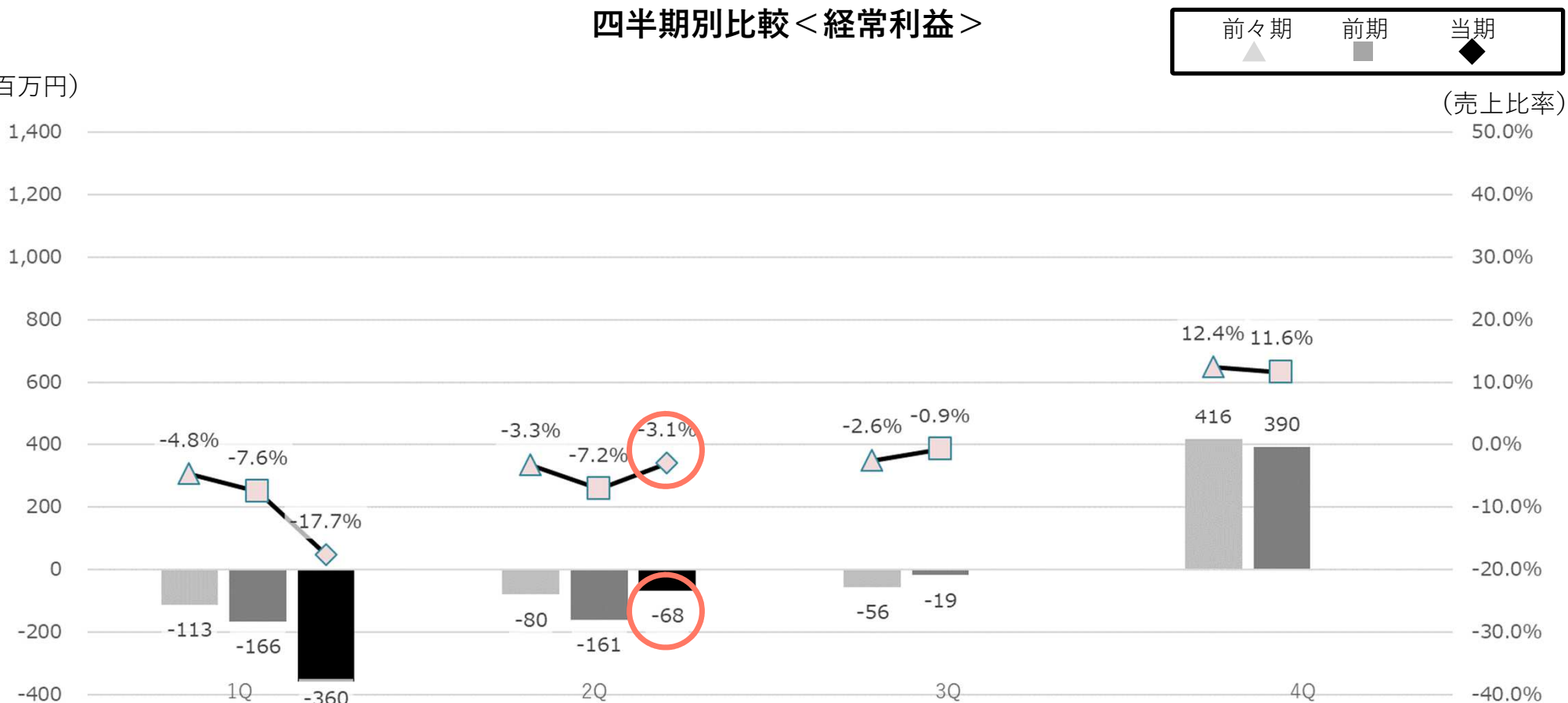
(百万円)



四半期別業績数値 経常利益

四半期別比較＜経常利益＞

(百万円)



四半期別業績数値 四半期純利益

四半期別比較＜四半期純利益＞





I R ・ 決算に関するお問い合わせ先

株式会社ツインバード 取締役最高財務責任者 企画管理本部 本部長 渡邊 桂三 (TEL : 0256-92-6111)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する意見や予測等は、資料作成時点で一般に認識されている経済・社会等の情勢及び、当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されており、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更される可能性があります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。